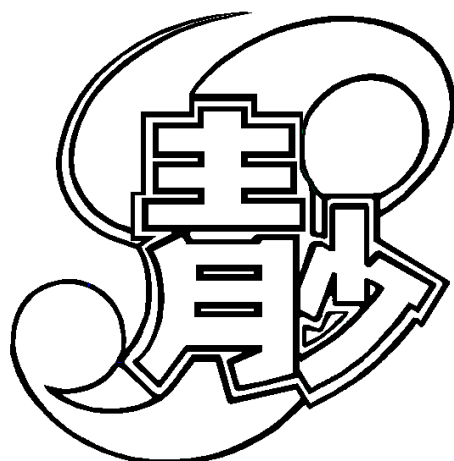


平成 17 年度

事 業 報 告 書

収 支 決 算 書



財団法人 静岡県青少年会館

〒420-0068 静岡市葵区田町 1 - 7 0 - 1

Tel 054-255-2566 Fax255-2507

E-mail info@youthnet.or.jp

URL www.youthnet.or.jp

***** 目 次 *****

平成 1 7 年度事業報告

事業の総括 1

事業の概要 2

- 1 管理運営に関する事業
- 2 青少年団体及び青少年の健全育成に関する事業
- 3 青少年の研修会等に関する事業
- 4 青少年に関する調査研究及び資料等の収集事業
- 5 その他の事業

庶務の概要 1 2

- 1 役員に関する事項
- 2 職員に関する事項
- 3 会議に関する事項
- 4 許可認可及び承認に関する事項
- 5 契約に関する事項
- 6 寄付に関する事項
- 7 借入金に関する事項
- 8 教育委員会の指示に関する事項
- 9 その他重要事項

平成 1 7 年度収支決算書

収支計算の部 1 7

正味財産計算の部 2 0

貸借対照表 2 1

貸財産目録 2 2

監査報告 2 3

計算書類に対する注記 2 4

残高証明書 2 5

事業の総括

青少年会館の課題は、将来的展望を踏まえ、大きな転換期を迎えようとしていることに鑑み、今年度その現実と基本的な将来展望を加味しながら検討を行うためのアクション会議を開催して来た。折しも時代は、国、地方の行政改革が進められる中で、公益法人に対しても現状等の再検討を行うと共に、その必要性和将来的機能やあり方を問われるところとなった。

当財団に対しても同様の再検討することが要求されたが、これまでの改善方法では財団として生き残ることは出来ても、その指名や役割を今後も果たし、本来の目的である青少年や団体活動に対する責務を十分に果たすことは出来ないという、大変難しい時代を迎えていることを痛感しており、まして青少年団体が衰退しても財団が生き残るのであれば本末転倒であり、無意味な公益法人といわざるを得ない。

こうした考えを基本として、本年度のアクション会議では、三つの柱を立て多岐にわたる検討を行うと共に、その試算や試策を行ってきた。財政・公益事業・収益事業の分野における課題や今後について、抜本的な改革案に基づくより現実的な実績の積み重ねをもって、さらに広く県民に理解される青少年の育成を目指し、財団を構成する青少年団体等が一丸となって取り組む必要性があり、そこから時代背景を捕らえた青少年やその環境作りのための施策を我々自身が発信するという体系作りであった。

行政改革の波は、様々なところでこれまでの行政主体的体質を一変させ、県民自らが地域づくりを行うためにどのようなことに取り組み、住みよい街づくりを様々な部分で展開していくかを求められている。その意味では、社会教育分野における青少年の教育を担うものとして、これまでの体質を我々自身も変えていかなければならないし、誰彼の指示を待つことなく、なすべきことを自らの責務として積極的に進めていくことが必要となる。正に想像と自治が、常に求められることとなり、合わせてそれらの取組みが広く評価され普及するためには、自らの認識と自発性が伴わなければならず、活動等においては生涯教育の一環として、また一つの楽しみとして参画できることが大変重要な要素であるといえる。

こうした改革を行うためには、強いことばかりでは課題を克服できないばかりか、その母体そのものやこれまで携わってこられた貴重な人材をも失いかねない危険性がある。青少年団体の組織を支えて来たのは、献身的な人々そのものであり、その人と人との絆が礎となり多くの偉業をなしてきた経緯は、時代や状況が変わろうとも今後も継承すべき重要な財産である。そうした人たちを大切にすると共に、これまで培ったものを若い人たちに継承してゆく必要があり、それらの人たちが活躍する場所や、実習をとおして必要視される青少年育成事業の展開を行う場所の確保も急務である。

その昔、新しい国づくりを目指し、青少年の育成を最重要課題として全国に先駆け取り組んだ先人達の思いや偉業、近年では青少年会館建設運動に端を発する、青少年団体における連携など多くの斬新的取り組みは、静岡県の誇りとするところであり、こうした転換期にその意気を発揮する県民性とも言える。昨今の事件や社会現象が、先んじて青少年にあらわれ、その及ぼす影響は多大で、大変残念で悲しい事態である。新たな時代は、新たな課題を常に保有しており、それらに対する我々が果たすべき役割も大きく膨らんでくる。これまでとは違った環境の変化の中で、その経験と実績を踏まえた上での今後の青少年教育のあり方と具体的対応策を実践していく必要があり、今年度はその方向性を示すと共に、団体等が一丸となって今後活性化する方策を検討している。次年度においては具体的な行動を起こして行くことを期するところとなった。

事業計画概要

1 静岡県青少年会館の管理運営に関する事業

(1) 会議室の利用実績

会議室が、青少年の活動や地域における一般県民の学習や研修の場として利用された実績は、下表及び別表に示したとおりである。年間の開館日数は、祝祭日等を除く342日で、統計は、貸会議室数12室と静岡市青年研修センター分室の利用者を合わせたものである。また、団体事務室として6室あり、県青年団・YMAYA・ガールスカウト・ボーイスカウト・県子ども会・県レクリエーション協会がそれぞれ入居している。

区分	貸会議室利用回数	貸会議室利用率	利用人員
本年度	2,405室	19.5%	74,384人
前年度	2,427室	22.1%	73,310人
増減	22室	2.5%	714人

年間の利用状況を分析すると、前年度に比べ利用回数、利用率共に僅かに減少しており、特に7・3月の利用率の減少が見られ、定期的に利用する団体が駐車台数の制限等から他施設へ変更したことが影響して入るものの、新規利用者もあり年間を通じた実績からはさほどの影響は見受けられない。部屋別には大会議室の利用が前年度を上回り増加している反面、小会議室の利用は減少しており、広い会議室へのニーズが高い反面、分散会等を要する利用形態が少なくなっていることが伺われる。

利用率は、会議室の改修工事もあり分母が同じでないことを考慮するとほぼ前年度並で、月別の利用率の変化も7・9・3月が減少値を示し、結果として平均利用率を2.5ポイント下げる結果となっている。7月の減少は、高校の夏期講習が前年度より縮小されたことによる。年度当初から夏までの期間に利用が高く、その後は年間平均した利用状態であるといえる。また、以前のような一般団体のうち趣味の団体が利用することよりも、最近の健康ブームの続く中で行政が行う講座や一般の健康セミナーなどの利用者は増えている。会社の研修や会議での利用は、景気の回復傾向をうかがわせ、徐々に会議室の利用が増えていると感じられる。

一方、施設の老朽化やこれまでのように駐車場を確保出来ないことによる顧客離れは著しく、新規の顧客もある反面、継続的に大勢で利用していただいた団体の利用がなくなるという事態にもいたっており、駐車場の問題は利用者の便に限らず、周辺住民への配慮としても考えていかなければならない。

利用者人数においては、全体的には若干増加しており、会議室の利用回数と利用人数とに大差ないことが裏付けられる。青少年団体と一般利用割合とを比べると、一般の利用が48.9%で前年度より1.1ポイント上げており、わずかながら一般利用者の増加傾向は昨年に続き連続したものとなっている。

利用時間帯から見た場合、時間帯別の利用率には昨年度と比べ若干の減少状態である。一日の利用形態を見た場合、これまで午前・午後が30%前後、夜間は39%という傾向であり、若干ながら昼間の利用が増えてきていることが伺われる。夜間の利用促進が望まれるが、受入のための駐車場の問題もあり難しいのが現実である。反面、平日の昼間においてはまだまだ余裕があり、会社や団体の会議等での利用促進や、自主事業として生涯学習の観点から新たな講座の開設をも含め検討していきたい。

今後も新規の開拓や趣味の団体への支援などにより付随的に収益を上げられる努力をしていかなければならないが、青少年にとどまらず事業の展開を積極的に行っていくことで集客あるいは利用の拡大等を図って行きたい。

(2) 施設・設備の整備事業

環境美化

会館周辺の花壇の整備を行うと共に、静岡市のボーイ・ガールスカウト達によって活動の一環として花壇の手入れ等に取り組んでいただいた。また、ロビー周辺の整備を行ったところ、座布団の寄附などの善意が寄せられた。

施設・設備の整備

建物の老朽化に伴い長らく雨漏りや塗装のはがれ等利用者や関係者からも指摘され、承

知はしているものの経費の算段に悩んで来た。もはや、応急処置だけではどうにもならないところにきており、外壁や張り出し部分の塗装や雨漏りの修繕に取り掛からなくてはならず、関係者の支援や工事に伴いボランティアで何人かの青年が手伝いを引き受けていただき、職員と共に実施することが出来た。当面する改修箇所として、玄関周り、3階機械室、玄関周り、団体倉庫などの修繕を準備期間等もあって一週間かけて実施した。

改善はされたものの抜本的な修繕が必要であり、対震工事を含め様々な課題を抱えている。当会館の対震工事については、平成21年度において実施する計画を静岡県では計画しているが、今後の青少年会館の利用や役割について、存続を含めた検討を強く求められており、入居する団体をはじめ県下青少年団体と共にある会館の意義や使命を新たな事業展開の中で摸索・実践し、財団としての将来的なありかたを明らかにしておく必要がある。そのためには、一つの指針として打ち出されている「21世紀マスタープラン」を更に具体化し、実践的な行動をとることで将来的なビジョンと経営方針を打ち出していくことが重要である。

2 青少年団体及び青少年の健全育成に関する事業

(1) 青少年団体特別育成事業

目的 青少年の健全育成に当る団体活動を奨励し、青少年団体への支援体制を強化する。

内容 青少年団体活動の奨励を図るため、次の特別育成団体へ資金の援助を行った。

静岡県青年団連絡協議会	150,000円	
YMAYA	50,000円	
ボーイスカウト静岡県連盟	150,000円	
ガールスカウト静岡県支部	150,000円	
静岡県子ども会連合会	150,000円	
静岡県青少年会館友の会	150,000円	計 800,000円

(2) 地域活動活性化プロジェクト

目的 県下に青年団体活動のモデル地区を設け、その地域に生活する研究員が、団体や行政等との連携を図りながら、地域テーマに基づき活動の活性化を進める。

内容 青少年活動研究所員を中心とした地域青少年団体支援スタッフは、市部または、広域市町村単位で積極的な支援活動を行った実績は次のとおりである。

静岡地区	壮年団の地域起こし、青年団の再生に関する支援活動
清水地区	清水市青・少年の船に関する支援活動
岡部町	子どもプレーパークへの支援

3 青少年教育の研修会等の開催に関する事業

(1) コースネット

目的 青少年に関する活動情報を提供するコーナーをインターネット上に設け、青少年団体や事業の紹介、研修施設等の情報を掲載し活用性ある情報ネットワークを運営する。また、地域の情報の確保や青少年に関する意見の交換等を行う場を設ける。

内容 インターネットに「YOUTHNET」というホームページを継続開設し、青少年活動の情報源として有効利用すると共に、団体・活動施設等のデータベース情報を検索できるページを運営し、青少年及び青少年団体活動で活用される情報発信を行った。

また、パソコン等を活用した情報の収集・提供、会員登録等の事務処理、ホームページの製作や評価など団体活動の実務的なことについて、その技術的アドバイスをすると共に、インターネットを活用しデータベース化した情報や意見交換の場を提供することで、広く青少年に社会参加を促すものとした。

(2) その他の研修会事業

目的 青少年団体等からの要請に応じ、活動または指導者やリーダーの育成に必要とされる技術や知識の習得を目的とする研修会・講習会等を開催し、青少年の活動を積極的に支援する。

内容 パソコンを活用した活動の推進を図るために、ホームページ作りやアプリケーション

ンソフトを使った事務処理講習等を実施した。

4 青少年に関する調査研究及び活動資料等収集事業

(1) 青少年活動研究所

目的 青少年活動研究所設置要項に基づき、青少年や青少年団体活動のあり方等について研究し、県下青少年活動の発展に寄与する。

内容 研究所研究員は、個々の研究テーマにより活動を通じた実践研究や関係者との協議の中で研究活動を行った。また、当会館の公益事業の企画・検討に際しスタッフとして活躍しており、特に今年度は基本構想事業「アクション会議」のメンバーとして、青少年会館の将来展望等についてその英知を発揮した。

(2) 青少年教育歴史研究事業

目的 これまでの青少年団体及び育成事業を調査研究し、時代の取り組みや効果等を明らかにして、新世紀の青少年教育のあり方を深く追求する資料の整備を行う。また、その資料を有効活用するためのデータベース化を進める。

内容 昭和20年から現代までの青少年団体や青少年教育行政等が行ってきた歴史を振り返り、団体及び指導者の蔵書、資料から時代背景や指導内容等が一覧できるデータベース化のための作業に合わせ、その資料の収集と整理に努めている。また、研究者からの問い合わせにも応じており、更に活用性ある資料この整備に努めていきたい。

(3) 会館基本構想事業 「アクション会議」

目的 現在の青少年教育のあり方を模索する中で、青少年会館の果たすべき役割や意義について研究すると共に、運営の分析と事業の今後の在り方等を明らかにする「21世紀プラン」を推進する。

内容 基本構想委員会の答申に基づき、青少年及び青少年会館の課題と今後の展望を検討し、当面する課題への取組みと基本的視点での見直しを行い、次年度以降に実践すべき具体的事業等を作り上げた。

公益事業のあり方と収益事業 ... 事業収支を見据えた事業の実施

基金の運用について ... 預け替えを迎える運用の検討

青少年団体の活性化と会館の役割 ... 青年団体の存続に関する提案

新規事業の方向 ... 新規事業の検討

(4) 青少年に関する資料の収集

目的 各種青少年団体の総会等の資料、青少年関係の資料、図書等の収集整備に努め、統計資料の作成及びこれを関係機関等へ提供した。

5 その他の事業

(1) 青少年団体・サークル加入相談活動

目的 青少年団体やサークル等への加入及び活動についての相談を窓口業務を実施する。

内容 インターネット及び来館による問い合わせにより、希望団体及び参加事業等紹介をした。その他、青少年のための公的講座等の問い合わせについても紹介している。

(2) マイクロバス事業

目的 青少年活動の拡大と人員や教材等の移送を支援するため、マイクロバスを青少年団体や育成事業に提供し、本会館の主催事業と合わせてその効果的な運用を図った。

内容 青少年団体の活動等に利用された実績は、下記のとおりである。

区分	本年度	前年度	増減	主な利用者
稼働日数	66	85	19	青年団・サークル・ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会・スポーツ少年団 福祉団体 他
稼働率	18.4%	23.9%	5.5	
利用者	1,399人	1,069人	330	

(3) 青少年交流スペース「アンダンテ」事業

目的 社会的ひきこもり青少年の社会参加のための支援活動及びその家族に対する支援を行うと共に、これらひきこもる青少年のメカニズムや環境が及ぼす影響などの実態を研究協議し、今後の課題や理解を求めるために広く県民に周知する。

内容

場所 静岡市馬淵1丁目アザレア5階 アンダンテルーム他
 相談機能 (メンタルプログラム)
 カウンセリング(本人・家族)
 グループカウンセリング(本人・家族同士、本人と家族)
 面接相談 毎週 月～土曜日 10:00～16:00
 カウンセラー対応 50分/人
 アドバイザー対応 希望により逐次
 交流機能 電話相談(本人・家族・関係機関等)月～土 9:30～16:00
 (アクションプログラム)
 フリースペース(本人) 月～土曜日 9:30～16:00
 自由に過ごせる場の提供と相談相手の配置
 ファンスペース(本人) 不定期
 興味のあることへのチャレンジ
 物作り・体験からのコミュニケーションプログラム
 対象 ふれあいスペース(親の会)毎月第三土曜日13:00～16:00
 15～30歳程度の青少年とその家族
 ・一定期間以上家庭等にひきこもっている
 ・人づき合いが苦手
 ・学校や会社へ行けない(行きたがらない)
 ・はっきりとした理由がわからないまま学校や会社を辞めた
 ・病気が第一の原因とは考えにくい者
 ・社会参加を願い、自ら努力をする者
 その他 ひきこもりに関する研修会の実施及び講師の派遣
 関係機関等との支援体制に関する研究協議
 利用者等の状況については、下表のとおりである。また、カウンセリング実務研修会の実施やその支援体制に関する研究をあわせて行って
 おり、県内関係機関および他県からの視察問合せ等を受けている。
 メンタルプログラム

月	日数	面接相談			電話相談等					手紙
		カウンセラー	アドバイザー	計	相談	予約	その他	留守電	計	FAX
4月	25	54	9	63	45	31	31	17	124	74
5月	23	45	32	77	38	23	34	9	104	48
6月	25	36	18	54	69	31	31	14	145	51
7月	25	42	21	63	41	40	33	9	123	50
8月	27	41	26	67	64	36	28	5	133	19
9月	23	34	31	65	61	27	17	22	127	19
10月	25	27	29	56	40	24	11	6	81	32
11月	23	35	25	60	61	27	21	5	114	42
12月	22	31	22	53	61	25	14	1	101	41
1月	22	31	30	61	50	28	16	11	105	41
2月	23	44	37	81	68	19	19	3	109	24
3月	26	22	49	71	81	20	10	6	117	28
合計	289	442	329	771	679	331	265	108	1383	469
	24.1	36.8	27.4	64.3	56.6	27.6	22.1	9.0	115.3	39.1
平均日		1.5	1.1	2.7	2.3	1.1	0.9	0.4	4.8	1.6

アクションプログラム

月	日数	フリースペース	ファンプログラム	その他	計	スタッフ	ボランティア
4月	25	115	27	36	178	107	3
5月	23	90	32	37	158	113	1
6月	26	90	4	36	130	128	4
7月	25	94	20	33	147	125	4
8月	27	99	23	37	159	119	3
9月	24	82	22	37	141	95	4
10月	25	68	16	49	133	80	3
11月	23	70	17	32	119	68	0
12月	22	54	45	19	118	90	1
1月	22	74	9	30	113	106	1
2月	23	90	17	64	171	118	0
3月	26	48	12	81	141	129	2
合計	291	974	244	491	1,708	1,278	26
平均		3.3	0.8	1.7	5.9	4.4	0.1

ファンプログラム活動の内容（青年プログラム）

農園活動	芋掘りと焼き芋大会
清掃活動 アンダンテ大掃除	運動 卓球など
鍋パーティー	クリスマスパーティ
人形作り	ハイキング
カレー作り	街中散策
クリスマスケーキ作り	イラスト講座
ペーパークラフト講座	お花見
おすすめポイント探し	ボランティア活動
ジョブトレーニング	

ふれあいスペース

ふれあいスペースは、社会的ひきこもり状態の青少年を抱える親とスタッフとが相互に学びあい、家庭での回復プログラムの実践を通して青少年とどう関わっていくかを学ぶ場であり、参加者の経験等からヒントを得て、自らが実践して社会参加を支援する場である。

また、日頃の苦勞をひと時でも和らげるよう、クラフト活動などを取り入れている。

研修会の開催

県精神保健センター及び静岡市こころの健康センターとの定期研修会を開き、医療と教育の立場から相互のあり方や対応に対する意見交換等を行った。また、本年度のテーマを青年の就業に置き、ヤングジョブステーションや市就労支援室職員ともその連携に関する研修を行った他、定期スタッフミーティングや青少年の心理等に関する研修会等にも参加した。

- ・ ひきこもり関連事業研修会 9月20日 県精神保健センター
12月15日 市心の健康センター
2月23日 アンダンテルーム
- ・ 青少年教育研究会への参加 9月17・18日 長野県軽井沢町
- ・ スタッフミーティング 毎月1回
- ・ その他重要課題検討会 随時

社会的ひきこもりに対する周知活動

社会的ひきこもり青年に対する理解や支援のあり方等について、広く周知し、社会が一丸となってこれらの社会問題に取り組むことの必要性を訴えた。

講演・講話一覧

日時・曜日	事業名	会場・参加者	依頼者
5月14日(土) 9:30~12:00	心理カウンセリング講座	藤枝市文化センター 25名	家庭教育サポート協会
6月20日(月) 13:00~15:00	ボランティア電話相談引見集会	静岡県教育センター 34名	静岡県総合教育センター所長
6月24日(金) 19:00~20:00	富士市青少年健全育成ブロック研修会	富士市青葉台公民館 120名	富士市青少年指導員青葉台班長
7月9日(土) 19:00~20:30	富士市青少年健全育成会研修会	富士見台公民館 80名	富士見台地区生涯学習会長
7月17日(日) 13:00~17:00	KHJ親の会 いっぷく会	グランシップ 40名	いっぷく会会長
10月25日(火) 10:30~12:00	ひきこもり青少年自立支援事業企画評価委員会	県庁西館 9名	県教育委員会
10月27日(木) 10:00~11:30	子育てステップアップ講座	富士市青少年相談所 20名	富士市青少年相談所長
10月31日(月) 14:30~16:30	東部不登校児等対策連絡協議会地区別研修	富士宮市役所 90名	富士宮市学校教育課
1月19日 13:00~14:30	富士市子育て後援会	富士市吉原東中学 60名	富士市障害学習課
2月14日(火) 15:00~16:30	富士市不登校児等対策連絡協議会地区研修会	富士市青少年相談所 47名	富士市青少年相談所長
3月3日(金) 10:00~12:00	ひきこもり青少年自立支援事業企画評価委員会	県庁西館 9名	県教育委員会

回復及び改善が見受けられた実例と概要

区分			内容説明
1 社会への 旅立ち	高校入学者	3	不登校から高校を目指した・再挑戦による入学 留年をしてきたが奮起し卒業にいたる 自らの職業の選択・スキルアップのため ひきこもりを終息し再就職・就職先を自ら見つける 就職のための前段階として・働くことの体験・生活費確保 自らのライフスタイルを見つける・支援機関で短期就労
	高校卒業者	1	
	専門学校入学者	3	
	就職者	3	
	アルバイト その他	5 3	
2 行動の 現れ	本人の中で		近所への外出、買い物、生活時間の改善、職安へ出向く 自室こもりきりの改善、家族との会話、家庭での仕事 アンダンテへの通所、共同作業、後片付け、 客や郵便等の他応、親戚や知人との交流、
	家庭で アンダンテで 地域・社会で		
3 言動の 表れ			これまでのことを話す、将来について語る、相手に気遣い 自己反省と思いやりのある発言、親に対する感謝
4 考え方 の現れ			積極的な発想、こだわりへの軽減、多角的なもの見方、 自己認知や他者との違いの認識、相手への尊重

3 対人関係の現れ	本人の中で コミュニケーション	対人恐怖等精神的症状の軽減、人とのつながりの認知 友人関係の成立、話すことへの緩和、雰囲気を読む
4 機能変化の現れ	生活能力の改善 体調の改善・保持 回避能力	昼夜逆転の改善、自分のことは自分です、家事手伝い 食生活・体重の改善や保持、医薬の適正飲用と理解 問題に対する回避方法等の対処及び自覚、安定
5 精神的な現れ	精神的な安定 要求と達成感の獲得	様々な場面での安定とその期間の長期保持 自ら達成しようとする要求と出来ていることの自覚
6 その他	親自身の中で 家族関係の中で 本人におよんだ変化	親自身が趣味等を持ち明るく振舞う、子への真の理解 家族での旅行、外出、和やかな会話、思いやりある行動 家族への認識変化、表情や行動への変化

(4) 青少年会館活動後援会

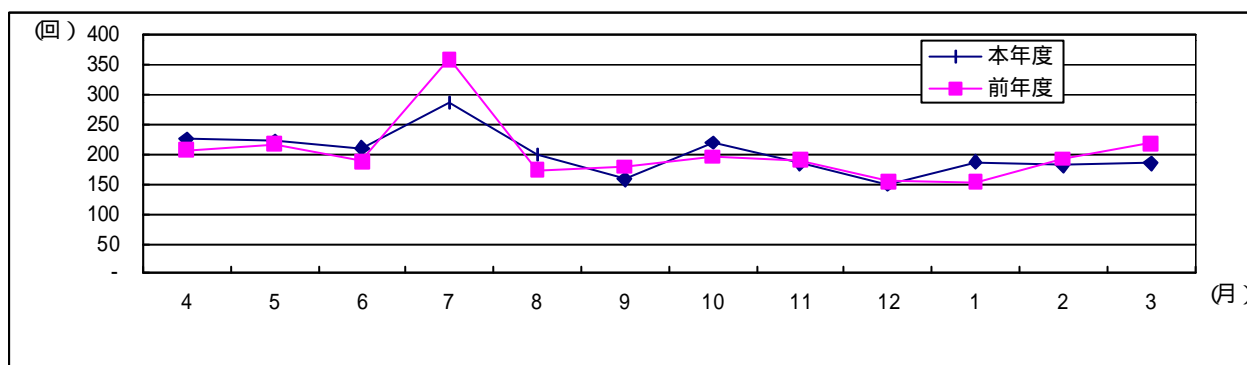
本年度、青少年の健全育成と青少年会館の事業に深いご理解と財政的支援をもってご協力いただいた、後援会会員の方々は次のとおり。(敬称省略)

静岡県青年団連絡協議会	Y M Y A
ガールスカウト静岡県支部	ボーイスカウト静岡県連盟
静岡県子ども会連合会	静岡県青少年会館友の会
サクライ石油株式会社	(株)やまだ学生服
株式会社東興	司法書士藤原雅夫事務所
株式会社ニッセー	松崎化成株式会社
株式会社ニッセー日本平ホテル	瑞光寺
静岡カントリークラブ袋井ゴルフコース	静岡県ボウリング場協会
静岡カントリークラブ島田ゴルフコース	協同組合環境センター
静岡カントリークラブ浜岡ゴルフコース	菱和設備株式会社
株式会社江崎新聞店	不二化成品株式会社
株式会社長谷	木内建設株式会社
司法書士加茂哲三事務所	
伊代田輝一	鈴木俊久
山本亮治	萩原一郎
大石節雄	渡辺実存
入海昭司	
八木彰五	
伏見彰久	
米沢国雄	
望月 清	
野崎正蔵	

別表 会議室利用状況

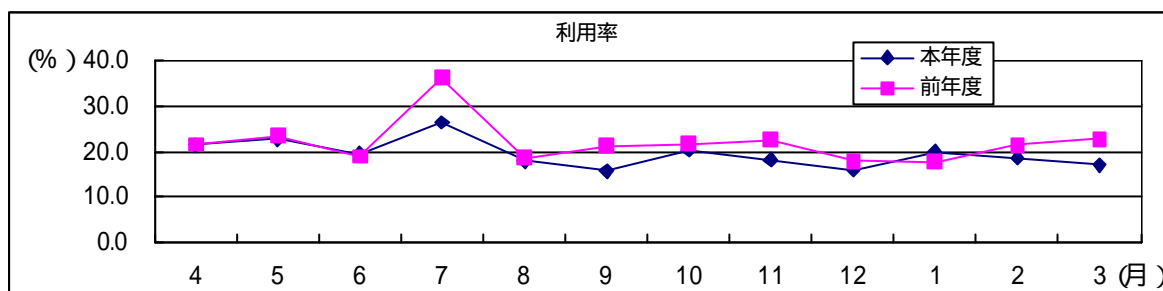
会議室利用回数

室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
特別会議室	11	9	23	18	12	6	3	10	7	27	8	8	142
11 会議室	37	30	33	38	31	33	31	23	18	37	31	29	371
12 会議室	19	16	21	28	19	14	19	23	26	23	17	22	247
大会議室	31	22	28	33	30	15	27	30	18	15	18	14	281
24 会議室	28	22	26	37	22	20	28	18	15	21	27	21	285
25 会議室	41	30	35	39	40	31	35	29	23	36	36	41	416
26 会議室	11	14	19	21	12	9	13	10	16	2	8	4	139
ITルーム	-	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
31 会議室	20	24	13	24	17	12	23	20	11	14	12	17	207
32 会議室	11	18	5	14	3	4	14	9	6	1	4	8	97
33 会議室	13	26	3	19	7	6	14	5	5	5	12	12	127
34 会議室	3	9	2	13	4	6	10	5	3	4	6	6	71
合計	225	222	210	286	199	158	219	184	150	187	181	184	2,405
前年度	207	217	188	359	174	179	196	190	154	153	192	218	2,427
増減	18	5	22		25		23	6	4	34			



会議室利用率

室/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
特別会議室	12.6	11.1	25.6	20.0	12.9	7.1	3.3	11.9	9.0	34.6	9.9	8.9	13.9
11 会議室	42.5	37.0	36.7	42.2	33.3	39.3	34.4	27.4	23.1	47.4	38.3	32.2	36.2
12 会議室	21.8	19.8	23.3	31.1	20.4	16.7	21.1	27.4	33.3	29.5	21.0	24.4	24.2
大会議室	35.6	27.2	31.1	36.7	32.3	17.9	30.0	35.7	23.1	19.2	22.2	15.6	27.2
24 会議室	32.2	27.2	28.9	41.1	23.7	23.8	31.1	21.4	19.2	26.9	33.3	23.3	27.7
25 会議室	47.1	37.0	38.9	43.3	43.0	36.9	38.9	34.5	29.5	46.2	44.4	45.6	40.4
26 会議室	12.6	17.3	21.1	23.3	12.9	10.7	14.4	11.9	20.5	2.6	9.9	4.4	13.5
ITルーム	0.0	2.5	2.2	2.2	2.2	2.4	2.2	2.4	2.6	2.6	2.5	2.2	2.2
31 会議室	23.0	29.6	14.4	26.7	18.3	14.3	25.6	23.8	14.1	17.9	14.8	18.9	20.1
32 会議室	12.6	22.2	5.6	15.6	3.2	4.8	15.6	10.7	7.7	1.3	4.9	8.9	9.4
33 会議室	14.9	32.1	3.3	21.1	7.5	7.1	15.6	6.0	6.4	6.4	14.8	13.3	12.4
34 会議室	3.4	11.1	2.2	14.4	4.3	7.1	11.1	6.0	3.8	5.1	7.4	6.7	6.9
平均利用率	21.6	22.8	19.4	26.5	17.8	15.7	20.3	18.3	16.0	20.0	18.6	17.0	19.5
前年度	21.6	23.5	19.0	36.3	18.7	21.3	21.8	22.6	18.0	17.8	21.5	22.8	22.1
増減	0.0		0.4							2.2			

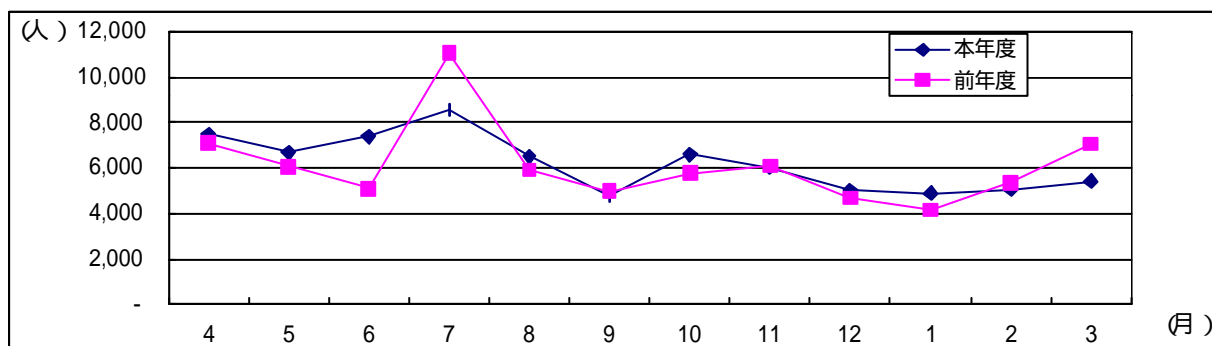


会議室別利用人数

室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別会議室	158	171	331	271	136	107	51	118	90	236	79	90	1,838
11 会議室	1,240	952	1,012	1,362	1,135	1,080	1,195	734	521	949	956	1,110	12,246
12 会議室	497	327	421	701	611	268	362	683	445	470	304	402	5,491
大会議室	2,245	1,552	2,440	2,040	1,690	1,090	1,890	1,919	1,430	750	1,160	880	19,086
24 会議室	544	414	487	763	416	284	445	337	272	464	459	381	5,266
25 会議室	616	410	523	703	575	425	474	437	409	674	531	820	6,597
26 会議室	430	405	575	510	391	295	395	365	540	100	330	200	4,536
ITルーム	0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	253
31 会議室	451	737	557	525	357	362	398	500	430	505	330	431	5,583
32 会議室	235	384	155	477	125	80	365	200	128	40	120	195	2,504
33 会議室	98	250	43	220	109	74	213	85	65	78	160	134	1,529
34 会議室	30	120	30	190	70	70	155	65	25	40	70	60	925
合計	6,544	5,745	6,597	7,785	5,638	4,158	5,966	5,466	4,378	4,329	4,522	4,726	65,854
前年度	6,185	5,525	4,230	10,350	5,245	4,555	5,210	5,510	4,015	3,445	4,705	6,165	65,140
増減	359	220	2,367	2,565	393		756		363	884		1,439	714

利用団体別人員

室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
青少年	2,992		2,847	5,089	2,768		2,514	1,883	1,732	949	1,535	1,909	28,881
一般	3,552		3,667	2,643	2,847		3,429	3,523	2,613	3,297	2,964	2,719	36,398
自主			83	53	23		23	60	33	83	23	98	575
研修センター	915		790	760	850		620	575	670	555	545	680	8,530
合計	7,459		7,387	8,545	6,488		6,586	6,041	5,048	4,884	5,067	5,406	74,384
前年度	7,082		5,095	11,051	5,920		5,760	6,093	4,691	4,165	5,355	7,070	73,310
増減	377	638	2,292		568		826		357	719			1,074



庶務の概要

1, 役員等に関する事項

(1) 役員

役職	氏名	就任	略歴	基準	備考
理事長	山本亮治	H16,6,23,	静岡県青年団連絡協議会顧問	2-2	H10,6,2,
副理事長	望月治己	"	(株)長谷代表取締役	2-3	H8,6,26,
"	伏見彰久	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	2-2	H2,6,25,
理事	白岩 俊	H18,3,27,	静岡県総務部長	1-4	
"	鈴木善彦	H16,6,23,	静岡県教育委員会教育長	1-2	H14,6,24,
"	西条光洋	"	静岡市教育委員会教育長	1-3	
"	角替弘志	"	常葉学園大学副学長	2-1	55,5,30,
"	遠藤 榮	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	2-2	53,4,19,
"	大石節雄	"	同上	2-2	
"	奥之山 隆	"	同上	2-2	H5,5,18,
"	鎌田まり子	"	静岡県青年団連絡協議会長	3-1	
"	小柳津友里	"	同副会長	3-1	H14,6,24,
"	鈴木敏彦	"	YMYA理事(H18,4,没)	3-1	53,4,17,
"	杉山博通	"	ボーイスカウト静岡県連盟理事長	3-1	H10,6,2,
"	青木燐子	H17,6,24,	ガールスカウト静岡県支部長	3-1	
"	河本 功	"	静岡県子ども会連合会長	3-1	
"	指宿 瞳	"	静岡市青年研修センター代表	3-2	
"	江崎和明	H16,6,23,	青年会議所静岡ブロック元理事長	3-3	
"	國行信晴	"	(株)中日本コンサルト代表取締役	2-3	H2,6,25,
監事	川村恭一	"	公認会計士	4-1	55,5,30,
"	佐藤忠正	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	4-2	H10,6,2,

(2) 顧問

役職	氏名	就任	略歴	備考
顧問	桜井一男	H16,6,23,	元理事長 サクライ石油社長	(59,6,8,)
"(故人)	江崎千萬人	"	元理事長江崎書店会長(H17,12没)	(55,5,30,)

(2) 評 議 員

役職	氏 名	就任	略 歴	基準	備 考
評議員	匂坂幸子	H17,6,27,	県教育委員青少年課長	1-1	
"	杉山 明	H16,6,25,	静岡市教育委員青少年課長	1-2	H14,6,26,
"	萩原一郎	"	静岡県青年団連絡協議会	3	61,6,18,
"	野崎正蔵	"	同 上	3	H10,6,8,
"	小笠原宏昌	"	同 上	3	H10,6,8,
"	山室 強	"	同 上	3	H10,6,8,
"	村越副武	"	同元副会長	3	H10,6,8,
"	窪田直充	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	3	H14,6,26,
"	鈴木俊久	"	静岡県青年団連絡協議会参与	2-2	H14,6,26,
"	鈴木理世	"	同 副会長	2-2	
"	相馬隆史	"	同 副会長	2-2	
"	杉本あつ子	"	同 常任理事	2-2	
"	酒井康吉	"	Y M Y A 元会長	2-2	H14,6,26,
"	村松 誠	"	同 理事	2-2	53,4,17,
"	藤田幸代	H17,6,27,	ガールスカウト県支部副支部長	2-2	
"	山口貴美子	H16,6,25,	同元副支部長	2-2	H14,6,26,
"	滝島三郎	"	ボーイスカウト県連理事	2-2	56,6,3,
"	林 晴二	"	ボーイスカウト静岡地区	2-2	H106,8,
"	八木彰五	"	青少年団体活動指導者	2-2	58,5,29,
"	石垣秀士	H17,6,27,	県子ども会連合会副会長	2-2	
"	稲森庸生	H16,6,25,	子ども会リーダーズクラブ会長	2-2	
"	榊原浩高	"	静岡市青年研修センター代表	2-2	
"	寺田 晋	H17,6,27,	同 上	2-3	
"	杉本忠重	H16,6,25,	静岡青年会議所	2-3	H10,6,8,
"	落合孝彦	"	同 上	2-3	H10,6,8,
"	雪島 昇	"	B B S 静岡県連盟代表	2-3	63,6,25,
"	渡辺実存	"	静岡県海外研修協副会長	2-3	56,6,3,
"	松本光生	"	静岡県4 H クラブ元会長	2-3	57,4,22,
"	小泉住雄	"	静岡県林業青年研究会元会長	2-3	H14,6,26,

(4) 運営協議会

役職	氏名	就任	略歴	備考
議長	伏見彰久	H16,7,1,	会館副理事長	
	松下喜彦	"	会館事務局長	
	鈴木理世	"	県青連協事務局長	
	村松 誠	"	YMYA事務局長	
	大井千鶴子	"	ガールスカウト事務局	
	松浦良雄	H17,4,1,	子ども会連合会事務局長	
	寺田 晋	H16,7,1,	静岡市青年研修センター代表	
	中村尚登	H17,4,1,	静岡県教育委員会青少年課	
	松永昌晃	H16,7,1"	静岡市青少年課統括主幹	

(5) 青少年活動研究所

役職	氏名	就任	略歴	備考
所長	山本亮治	H16,7,1,	理事長	
次長	望月治己	"	副理事長	
		"	副理事長	57,4,22,
専門研究員	角替弘志	"	理事・常葉大学副学長	57,4,22,
	落合良行	"	筑波大学心理学系教授	H2,6,25,
	秋鹿 博	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	H4,5,28,
研究員 少年部会	曾根恵津広	"	同上	H4,5,28,
	坂口良子	"	ガールスカウトリーダー	57,4,22,
	滝島三郎	"	評議員	57,4,22,
	八木彰五	"	評議員	57,4,22,
	杉本忠重	"	ボーイスカウトリーダー	57,4,22,
	中村正春	"	ボーイスカウトリーダー	H5,12,1,
	藤曲敏春	"	B・S地区コミッショナー	H5,12,1,
	高村賢一	"	ボーイスカウトリーダー	H8,7,1,
	粉川 智	"	ボーイスカウトリーダー	H7,6,1,
	富山洋子	"	ガールスカウトリーダー	H4,5,28,
青年部会	山口貴美子	"	ガールスカウトリーダー	H9,7,1,
	杉本照子	"	ボーイスカウトリーダー	H12,7,1,
	手島克訓	"	県青連協元役員	62,6,7,
	中野繁子	"	県青連協元役員	57,4,22,
	萩原一郎	"	評議員	59,6,23,
	米澤國雄	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	59,6,23,
	渡辺哲史	"	青少年会館友の会	57,4,22,
	小川 功	"	県青連協元事務局長	63,6,25,
	大石節雄	"	理事	63,6,25,
	村上清隆	"	清水市青協元副会長	H2,6,25,

青年部会	酒井洋典	H16,7,1	元清水市青協会長	H3,6,22,
	前田芳秀	"	県青連協元事務局長	H5,6,1,
	竹沢正樹	"	元清水市青年団連絡協議会役員	H9,7,1,
	堀池宜弘	"	元清水市青年団役員	H12,7,1,
	小野秀樹	"	元県青年団役員	H12,7,1,
	窪田直充	"	評議員	H12,7,1,

2, 職員に関する事項

役職	氏名	採用	業務内容
事務局長	松下喜彦	S53,11,1,	総括、連絡調整
事務員	岩見憲二郎	H17,4,1,	会館管理業務、
事務員	小澤弘樹	"	庶務
アンダンテ嘱託	杉浦正二郎	"	青少年交流スペースアンダンテカウンセラー
"	小澤 巖	"	"
"	鹿田一枝	"	"
"	松井華枝	"	"
"	今村靖子	"	青少年交流スペースアンダンテアドバイザー
"	岡村美恵子	"	" (青少年の指導、相談業務)
"	富山洋子	"	"
"	山口貴美子	"	"
"	高山壽重	"	"
"	瀧島佳子	"	"
"	石川昭子	"	"

3, 会議に関する事項

	年月日	議 題	備 考
理事 会	第1回 H17,6,27,	第1号議案 平成16年度事業報告及び決算報告の件 第2号議案 平成17年度収支補正予算の件 第3号議案 評議員の一部改選の件 その他 理事の一部改選報告について 他	可決 可決 可決
	第2回 H18,3,30,	第1号議案 運営指針(アクション会議提案)に関する件 第2号議案 基金預け替えの件 第3号議案 平成18年度事業計画に関する件 第4号議案 平成18年度予算に関する件 その他 理事の一部改選について	可決 可決 可決 可決

評議員会	第1回 H17,6,24,	第1号議案 平成16年度事業報告及び決算報告の件 第2号議案 平成17年度収支補正予算の件 第3号議案 理事の一部改選の件 その他 評議員の一部改選報告について 他	可決 可決 可決
	第2回 H18,3,27,	第1号議案 運営指針(アクション会議提案)に関する件 第2号議案 基金預け替えの件 第3号議案 平成18年度事業計画に関する件 第4号議案 平成18年度予算に関する件 第5号議案 理事の一部改選の件 その他	可決 可決 可決 可決 可決

4, 許可、認可及び承認に関する事項 該当なし

5, 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
H17,4,1,	静岡県	県有物品貸付契約(備品)
"	静岡市	賃貸借契約(静岡市青年研修センター分室)
"	株式会社総合警備保障	深夜機械警備業務委託契約(年間)
"	中部電気保安協会	消火機器点検保守業務委託契約(年間)
"	中部電気保安協会	電気保安業務委託契約(年間)
"	静岡甲株式会社	空調機器保守点検業務委託契約

6, 寄附に関する事項 該当なし(会館活動後援会扱いを除く)

7, 借入金に関する事項 該当なし

8, 教育委員会の指示に関する事項 該当なし

9, その他重要事項 該当なし